

敬老の日特集

ぶ長寿万歳

9月17日は「敬老の日」。

今年度、90歳以上になるぶ長寿の人は、198人。男女別にみると、男性60人(30・3割)、女性138人(69・7割)となり、女性の長寿が目立ちます。(平成19年8月15日調べ)

なかでも、今年度100歳を迎える人は2人。敬老の日特集では、そのお二人を含む、100歳以上の皆さんを紹介します。
※年齢は9月1日現在の年齢で記載しています。



伊藤キンさん(大久保)

明治38年7月11日(102歳)
いつもほがらかなキンさん。「名前を『一二三』とつけかえて、123歳まで頑張るよ」と元気に話してくれました。



馬場ミノさん(上野田)

明治38年11月5日(101歳)
老人会ではリーダー格だった、しっかり者のミノさん。また、若い介護士さんとも大の仲良しです。サケが好物なので、お魚パワーが元気の源だそうです。



有坂たよさん(大久保)

明治39年1月14日(101歳)
普段は、目を閉じて休んでいることの多いたよさんですが、毎年写真撮影の時には、おだやかに微笑んでくれます。



野村シメさん(南下)

明治40年1月10日(100歳)
誰からも好かれる、面倒見の良いシメさん。町に不慣れな介護士さんに、道案内をしてあげたこともあります。最近まで自分の洗濯もこなしていました。



野口フイさん(上野田)

明治39年12月12日(100歳)
お上品な人柄のフイさん。若い人と話すときでも、丁寧な言葉使いをされます。



大沼ムメさん(陣場)

明治41年3月15日(99歳)
野菜中心の健康食のおかげで、大病をすることがありません。趣味はそつり作り。贈り物としても喜ばれています。また、12人のお子さんに恵まれ、全員がご健在です。



鈴木ノブさん(下野田)

明治40年10月26日(99歳)
何でも食べられることが長寿の秘訣だそうです。ご自宅で、ゆつたりと毎日を過ごされている、自然体なノブさんでした。